



甲斐市議会だより

2021.10.25 No.69

# がいぎかい

令和3年10月25日発行  
★議会活動をわかりやすくお伝えします

## 今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
令和3年 第3回定例会	4ページ
こんなことが決まりました	8ページ
ここが聞きたい一般質問	10ページ
行政視察研修をオンラインで実施	15ページ

コロナを乗り越える 甲斐市議会



緑と活力あふれる生活快適都市

# 特集 輝く仲間たち (第7回)

毎回、市内で頑張る方々に登場していただきます。  
今回は、「御嶽古道を復元する会」です。

## 令和2年6月に日本遺産に認定 かつての賑わいを取り戻そう 「未来に残せ!! 御嶽道」

### 活動を始めたきっかけ(高橋栄齊さんに伺いました)

常説寺が所蔵している、国指定重要文化財の「白輿(しらこし)」と金櫻神社との関係や、寺が金櫻神社参拝道の入口にあたることを知り、地域の方々と協力して御嶽古道を復元したいと考え、活動を始めました。  
※高橋栄齊さん… 秋田県生まれで、約20年前に埼玉県から常説寺住職として移住

### 会の概要や活動内容

それぞれ個別に活動していた「御嶽道を歩くツアー参加者」、「白輿を見に行く会メンバー」、「金櫻神社地元住民」を結び付け、「御嶽古道を復元する会」を平成29年3月に結成し、現在、会員数は約30人です。  
主な活動内容は、敷島公民館で実施している、ふれあい講座「御嶽道を往く」や、浮世絵師歌川(安藤)広

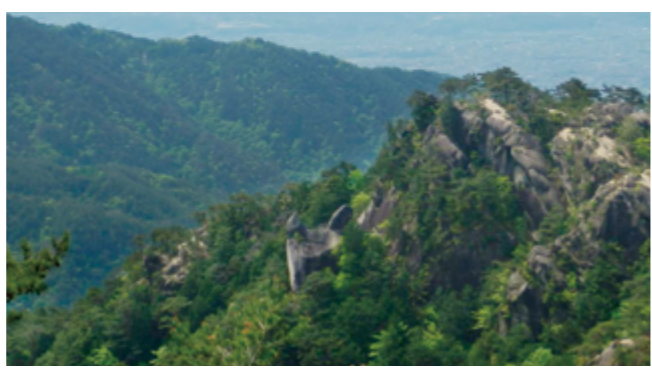


山桜の植樹の様子



左から、発起人の横山善宏さん、高橋栄齊さん、坂本 力さん  
重が描いた桜の風景を復元するため、山桜を植えたり、古道の整備もしています。また、クラインガルテンからの上道ツアー、常説寺からの外道ツアーも開催しています。

「御嶽道を往く」の様子は、You Tubeでも配信していますので、ぜひご覧ください。



1 浮世絵師 歌川広重が描いた鞍掛岩(くらかけいわ)



2 国指定重要文化財 白輿(しらこし)



3 県指定文化財 木造五百羅漢像



4 旧羅漢寺(らかんじ)の遺構

### おすすめスポット

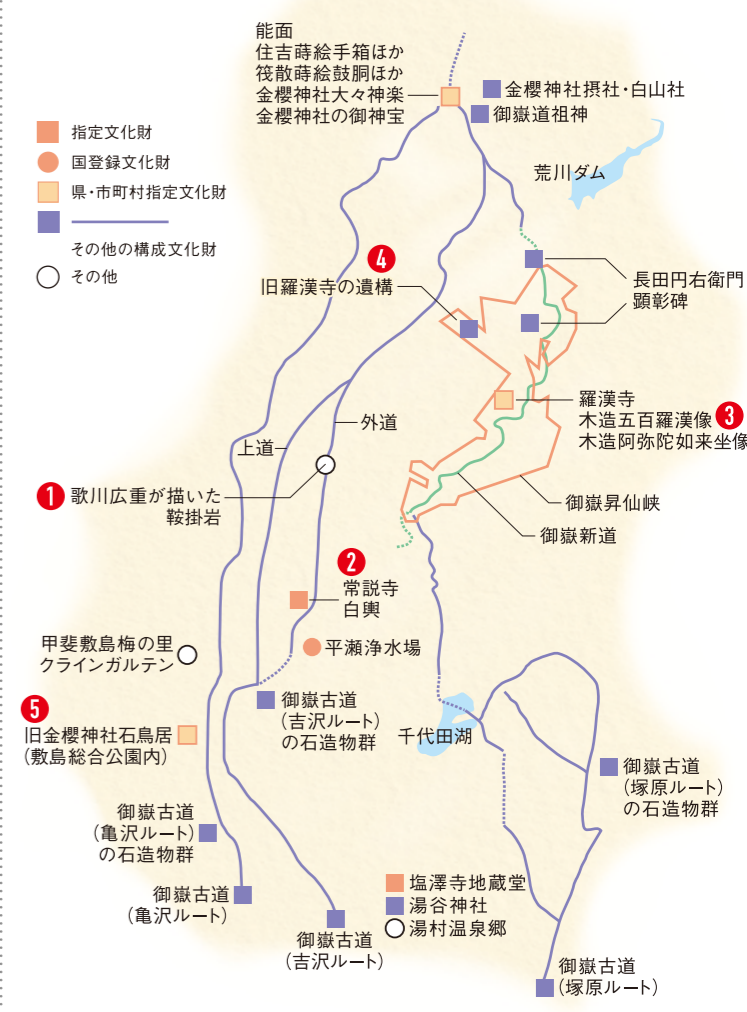
敷島総合公園に復元された、鎌倉時代の一の鳥居(旧金櫻神社石鳥居)また、そこから見える金峰山五丈岩、棚田を見下ろす上道、太刀の抜岩北側の上道・外道の交わるパワースポット地点があります。  
その他にも、白輿(常説寺)、亀沢ルート<sup>⑤</sup>の石造物群、木造阿彌陀如来坐像(羅漢寺)、旧羅漢寺遺構、石仏(表紙写真)など多数あります。

### 今後の展開

御嶽古道を観光目的の集客だけでなく、昔、にぎわった山岳信仰の道として復元させ、後世に残していくと共に、特産品の開発や地元食材を使った料理を提供し、地場産業の発展と地域の活性化につなげていくことにより、若い世代にも興味を持ってもらえるよう呼び掛けていきたい。



御嶽古道を復元する会の皆さん(5 旧金櫻神社石鳥居)



### 御嶽古道とは

甲信国境にある金峰山は甲州御岳山とも言い、修験道の霊場である。金峰山への参拝の道は、江戸時代に、吉沢口、亀沢口(甲斐市)など「御嶽九筋」が整備され、里宮として金櫻神社を祭る。

中でも甲府市の金櫻神社は多くの振興を集める。江戸時代の浮世絵師歌川広重も、御嶽古道を歩いて金櫻神社を参詣し、その折に古道の奇石や景色を描いており、その風景を今でも見ることができる。

※「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

# 令和3年 第3回定例会

## 定例会のあらまし

第3回定例会は、9月14日から10月5日までの22日間の会期で開かれ、市長から条例改正、補正予算および決算の認定などの36議案が提出されました。今定例会の補正予算の総額は、7億7,303万円で、主な内容は「安心甲斐・市民支援事業」や「バイオマス産業都市推進事業」で、全て原案どおり可決されました。また、13人の議員が一般質問を行いました。

## 教育委員会委員の任命

任期満了(令和3年11月2日)に伴い、次の方の任命に同意しました。(※敬称略)

- ・米山祐希

## 請願審査

### 件名

加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

### 審査内容

教職員数の適正化や教育関係予算の拡充は重要な課題であるが、国や県でも少人数学級に関する政策が進んでおり、請願内容について、なお調査研究する必要があるため、継続審査となりました。

## 議員発議により国に意見書を提出

### 件名

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

### 提出者(各会派代表者)

創政甲斐クラブ	内藤久歳	新政会	秋山照雄
颯新クラブ	有泉庸一郎	公明党	保坂芳子
甲斐市民クラブ	斉藤芳夫	進和会	金丸寛
日本共産党甲斐市議団	松井豊		

### 議決結果

可決(全会一致)  
 国(内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣)に意見書を提出

甲斐市議会だより(かいギカイ)では、第3回定例会の主な内容をピックアップして、掲載していますのでご覧ください。また、議会ホームページで録画映像を配信していますので、こちらもぜひご視聴ください。

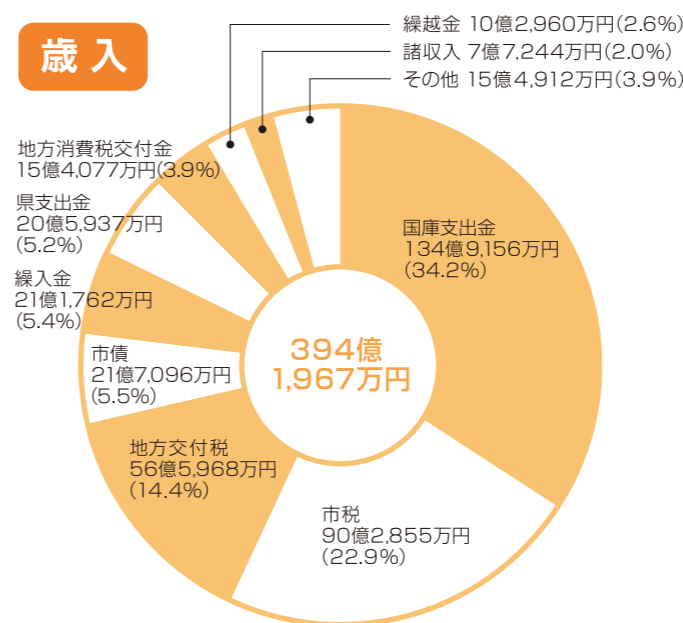


## 令和2年度 決算

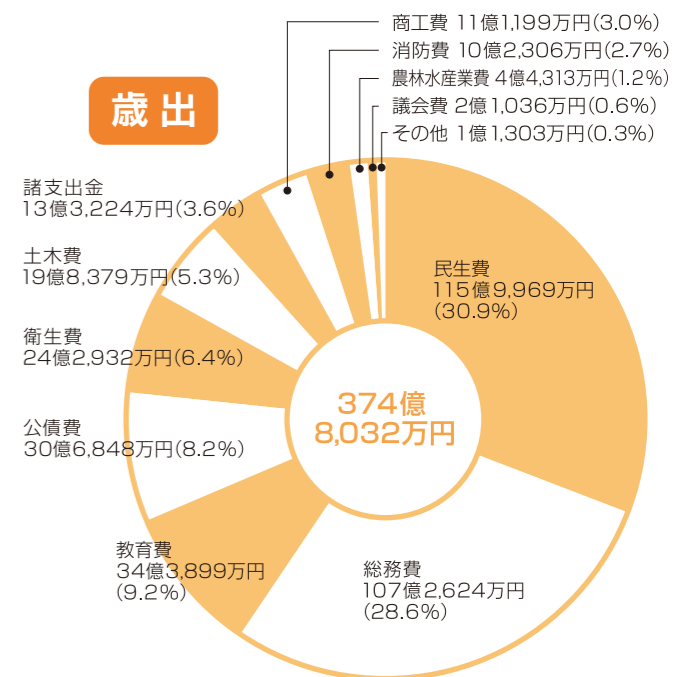
# 一般会計歳出374億8,032万円を認定

令和2年度一般会計決算は、決算審査特別委員会で審査後、討論の末、認定となりました。(P6~7に関連記事)

## 歳入



## 歳出



## 令和2年度 会計別決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度への繰越財源	実質収支額	
一般会計	394億1,967万円	374億8,032万円	19億3,935万円	4億9,452万円	14億4,482万円	
特別会計	国民健康保険	68億5,538万円	67億7,572万円	7,966万円	0円	7,966万円
	後期高齢者医療	7億9,940万円	7億9,839万円	101万円	0円	101万円
	介護保険	49億6,987万円	49億103万円	6,884万円	0円	6,884万円
	介護サービス	1,368万円	1,287万円	81万円	0円	81万円
	住宅新築資金等貸付事業	133万円	92万円	41万円	0円	41万円
	地域し尿処理施設	1,803万円	1,644万円	159万円	0円	159万円
	農業集落排水事業	1,326万円	1,247万円	79万円	0円	79万円
	合併浄化槽事業	1,707万円	1,704万円	3万円	0円	3万円

会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出		
	収入	支出	収入	支出	
企業会計	水道事業	10億3,116万円	7億2,939万円	7,739万円	4億5,984万円
	簡易水道事業	1億399万円	1億170万円	1,523万円	5,502万円
	下水道事業	16億2,706万円	16億1,184万円	9億6,845万円	15億1,288万円

※令和2年度から簡易水道事業、下水道事業は、企業会計へ移行しました。  
 ※企業会計での支出額に不足する額は、過年度分および当年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

# 市民の暮らしにどう生かされた？

決算審査は、委員19人による決算審査特別委員会(委員長 金丸幸司議員、副委員長 加藤敬徳議員)を設置し、9月27日から10月1日までの延べ5日間、審査を行いました。主な使い道は次のとおりでした。なお、新型コロナウイルス対策関係「安心甲斐・市民支援事業」の決算につきましては7ページのとおりです。

## これからのまちづくり

緑化センター跡地活用事業  
(都市公園決定図書作成業務委託等を行いました)  
..... 178万円

バイオマス産業都市推進事業  
(国の補助金を活用し、発電所の排熱を利用する熱供給事業の実現に向け、百楽泉温泉など周辺3施設における熱需要量調査などを行いました)..... 8,742万円

スマートプロジェクト推進事業  
(市民サービス向上のため、次世代に対応したデジタル化の準備に入りました)..... 2億2,287万円

## 防災・防犯対策

災害対策費  
(自主防災組織への補助や、災害対策のための整備費用に使われました)..... 7,510万円

交通安全・防犯対策費  
(通学路の安全確保のため、6名の専門交通指導員の配置や、交通安全・防犯対策のための費用が使われました)..... 4,542万円

## 健康・福祉・子育て・教育

ICT教育推進事業  
(市内小中学校の児童生徒に1人一台パソコン等の整備の他、学校ネットワーク関連経費、校内情報通信ネットワーク環境整備が行われました)..... 5億7,662万円

市単独学校教育支援員等配置事業  
(学力向上支援スタッフ、学校教育支援員等、多様な地域人材が小中学校に配置されました)..... 1億3,366万円

敬老祝金支給事業  
(88歳278人、101歳以上18人、満100歳16人に支給されました)..... 339万円



決算審査特別委員会の様子

## 一般会計決算について討論がありました

### 賛成討論

伊藤 毅 議員

増加する社会保障経費への対応や、「創甲斐教育」の推進、「甲斐市版ネウボラ事業」への取り組み、「GIGAスクール事業」を含めた学校施設の整備などを行う中で、「特別定額給付金」の支給や、「安心甲斐・市民支援事業」といった新型コロナウイルス感染症対策も実施するなど、様々な分野において、市民生活の向上に向け効率的・効果的に予算執行がされている。

今後は、人口減少による税収への影響や、高齢化社会の進展による社会保障経費の増加、老朽化する公共施設の維持管理など、歳出は増加の一途をたどり、財政状況は厳しくなると予想されるが、このような中でも、創意工夫と事業の精査などによる歳出の削減や、積極的な歳入確保により、本市の将来像である「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、的確な判断と、実行力のある財政運営に今後も期待し、賛成討論とする。

### 反対討論

松井 豊 議員

歳入では、地方消費税交付金は15億4,000万円余りで、地方消費税相当(35億円)の半分以下で、本来の目的である少子高齢化での社会保障の充実を果たしていない。

歳出では、職員定数は類似市よりかなり低く、当面500人にすべき。緑化センター跡地活用事業が白紙撤回され、177万円に減額されたが、市民の意見を聞く前に、民有地建物・工作物等補償料が1億3,400万円も増額され、(仮称)篠原地区公園整備事業の都市計画決定を行い、市民の意見を聞かない政治姿勢があらわれている。

また、学校給食費の無償化は1度きりではなく、子供の貧困状況を考慮し、段階的あるいは困窮度に応じた負担軽減を図るなど、困窮世帯に対する市独自の支援施策が必要である。

最後に、市民の暮らしを守り、日本経済を復興するためには、消費税の5%への減税が必要と考える。以上、反対討論とする。

# 「安心甲斐・市民支援事業」 ～新型コロナウイルスに負けない甲斐市応援プラン～

「安心甲斐・市民支援事業」の決算額は20億9,625万円となりました。主な使い道は次のとおりでした。

## 市民のみなさんのために

元気甲斐商品券配布 / 7億7,760万円

甲斐市内の店舗で使える、1万円分の商品券を市民全員に配布

エコバックの配布 / 7,779万円

買い物等に使用する、人気エコバックを1世帯1枚配布

ウォッシュブルマスクの配布 / 8,291万円

3歳以上の市民に、新型コロナウイルス等の感染症に備えて、洗ってくりかえし使えるマスク(1人3枚)を配布

避難所に感染防止の備品を整備 / 1,630万円

避難所での感染防止のために、パーティション、段ボールベッド、アクリル板を配備

## 子育てを頑張るみなさんのために

新生児への10万円給付 / 5,540万円

特別定額給付金の対象から外れる、令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児に、10万円を支給

保育料・副食費の無償化 / 3億1,607万円

保育園、幼稚園等の保育料、副食費、また、小中学校の給食費を全額補助(4月～9月分)

子育てかいてきBOXの配布 / 1,224万円

ウォッシュブルマスクの配布対象から外れる、0歳から2歳までの子どもに、紙おむつやおしりふき等の子育てのための必需品セットを配布

放課後児童クラブ利用負担金の無料化 / 1,860万円

学校休校期間中の利用者負担金を全額補助(4月・5月分)

## 高齢者のみなさんのために

高齢者・障がい者へのタクシー券の配布 / 1,696万円

高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業利用者に、追加でタクシー券5,000円分(500円券を10枚)を配布

高齢者へのマスク配布 / 1,675万円

高齢者世帯(65歳以上の方のみで構成)へマスク28枚(7枚入りを4袋)配布

## 経済がコロナに負けないために

中小企業及び個人事業主への支援 / 1億9,458万円

国の持続化給付金の対象となった市内事業者に、事業継続のための上乗せ給付金の支給や家賃補助金等を支給

公共交通事業者への支援 / 2,320万円

コロナ禍により利用者が減少した市内に事業所がある、地域公共交通事業者に支援金(市内運行台数×10万円)を支給

## 市役所内の感染対策として

窓口アクリル板設置、サーマルカメラ(体温測定)設置、テレワークシステム機器の整備 / 2,877万円

市役所庁舎などの各公共施設に感染拡大防止対策のため、窓口にアクリル板や出入口にサーマルカメラを設置、また、市役所内での集団感染防止のため、職員が自宅等でテレワークを実施するシステムや機器の整備

第3回定例会(9月14日から10月5日)において

# 甲斐市のこんなことが決まりました

主な内容をピックアップしてお知らせします。

## コンビニ利用で証明書発行手数料が100円値下げ

議案第47号 甲斐市手数料条例の一部改正の件

令和4年4月1日から、マイナンバーカードを使用し、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機(マルチコピー機)で証明書を取得した場合、通常市役所窓口で支払う証明発行手数料(300円)より100円値下げします。

**発行できる証明書** 印鑑登録証明書 住民票の写し 所得課税証明書

**発行手数料** 200円(令和4年4月1日～)

**利用できる店舗および時間** 全国のセブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、イオンのマルチコピー機設置店で、6時30分から23時まで利用可能(年末年始(12月28日～1月3日)また、メンテナンス時は利用不可)

## 「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」の特産化支援

議案第50号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第4号)

生産量を増加させるために栽培面積の拡充を推進し、さらに効率的に作業を進めるための作業機械(トラクターやネギ定植機等)の購入費用を補助します。



双葉地区を中心に生産している「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」



### 「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」とは

平成29年度から「梨北農業協同組合ねぎ部会」が双葉地区を中心に生産している「白ねぎ」で、品種は「夏扇(なつおおぎ)」です。土壌が固めで、おいしさをぎゅつと閉じ込めるという意味で名付けました。梨北農業協同組合の直売所「よってけし」や「双葉農の駅」などで販売しています。

## 民間保育所の整備事業費を補助

議案第50号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第4号)

既存の施設を新たに保育園として改修し、6月に玉川地区に開園した「ふじざくら保育園(小規模保育園:0歳～2歳児対象 定員19名)」の整備費用について、また、中下条地内にある「松島さくら保育園」が令和4年4月から園児の受入拡大(0歳～2歳児を30名増員)のため、園舎の増築費用を補助します。



ふじざくら保育園

松島さくら保育園

## 木質バイオマス発電所の排熱利用方法について調査・研究

議案第50号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第4号)

木質バイオマス発電所の排熱を公共施設等で利用するため、発電事業者と協議をするなかで、発電所からの排熱の取得量や、取得方法について、また、発電所と公共施設との熱供給のための接続などに係る設計業務を委託します。



### 熱利用とは

木質バイオマス発電所の排ガス等から熱を取り出し、発電所周辺の公共施設(百楽泉、双葉B&G海洋センター、双葉学校給食センター)で使用される化石燃料に代わるエネルギーとして、また農業に活用することで、二酸化炭素排出抑制や化石燃料費の削減を図る。

## AI・RPAの導入によりデジタル化を推進

議案第50号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第4号)

「スマート甲斐プロモーション」の基本方針である「スマート化による効率的・効果的な業務の推進」を「AI・RPAの導入」により推し進める取り組みとして、議事録作成支援業務はAIを、ふるさと納税業務や軽自動車税の廃車処理業務はRPAを活用して、業務を自動化させます。



### AIとは

人工知能(Artificial Intelligence(アーティフィシャル インテリジェンス))の略称で、いま最も注目されているテクノロジーの1つです。AI技術により、コンピューターの性能が大きく向上し、機械が「学ぶ」ことができるようになり、翻訳や自動運転、医療画像診断など、人間の知的活動に大きな役割を果たしつつあります。

### RPAとは

Robotic Process Automation(ロボティック プロセス オートメーション)の略称で、「人間の代わりに業務をこなしてくれる自動化ツール」として、決まった手順の定型業務や繰り返しおこなうルーティンワークの自動化など、主にパソコン上でおこなう事務作業の分野で導入が進んでいます。

## 市内飲食店等を応援金で支援

議案第63号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第5号)

「安心甲斐・市民支援事業」において、まん延防止等重点措置の対象区域の指定等により、県からの休業又は時短要請に応じた飲食店等を支援するため、県が交付する「山梨県休業等要請協力金」の30%を、市独自の応援金として上乗せして交付します。(対象事業者には、後日、市より案内が送付されます)



### たとえば、いくらもらえる?

山梨県休業等要請協力金が、60,000円/1日で30日間休業した場合  
60,000円×30日間(8月14日～9月12日)×0.3(30%上乗せ) = 540,000円

# 一般質問

## ここが聞きたい

第3回定例会では、13人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



### 人生100年時代を見据えた地域社会づくりを

**Q** 人生100年時代を見据えた、まちづくりを進めるには、交通弱者対策を中心に交通インフラを見直す必要がある。ゾーン30など安心安全な道路空間整備をはじめ、日常生活交通の確保を中心に、計画的に進めていくことが必要と考える。本市の考えを伺う。

**A** 加速する高齢化社会に伴い、身近な交通インフラの整備や機能、役割などのあり方について、今後、ますます重要度が高まる。高齢者や通学児童といった交通弱者が安心して歩くことができるよう、安心・安全な道路環境の整備を推進している。ゾーン30の導入など、引き続き、地域や関係機関との連携を取りながら、交通安全対策に注力して参る。

**Q** 人生100年時代、学校を地域の総合拠点として位置付けた多目的利用を進めることも必要と考える。本市の考えを伺う。

**A** 学校施設は、児童生徒の学習・生活の場である一方、地域の文化・スポーツ等の活動の場や、非常災害時の避難所として役割を担い、地域住民にとって最も身近な公共施設である。空き教室などを地域活動の拠点として、平常時から多目的に活用することは、地域コミュニティの強化、地域の振興などの効果も期待できる。先進事例等を参考に調査研究して参る。



竜王東小学校

#### その他質問項目

- 長寿・高齢化が進む中でのICTの活用について
- 自治会の現状と具体的支援策について
- 人生100年時代を見据えた防災強化を
- 地域ささえ合いの担い手にシニア世代を



### 市民バスの運営現状と今後の方針について

**Q** 現時点での調査研究内容について伺う。

**A** 甲斐市民バス全8路線の利用者数は、敷島・双葉地区の北部路線で減少傾向である。敷島北部線の現地調査結果を踏まえ、沿線自治会役員との意見交換会や、アンケート調査を実施した。改めて北部地域住民やバス運営事業者との意見交換会を検討している。

**Q** バス会社からの要望や提案はあるか。

**A** バス運行業務を委託している山梨交通株式会社からの要望・提案はないが、敷島北部線の利用者が減少傾向なので、利用者増加に向けた対応策や運行形態の効率的な改善案の提示を依頼している。

**Q** スクールバスを活用するなど縦割り行政をなくした事業運営は出来ないか。

**A** 児童生徒と一般客の乗り合わせは、安全面の確保や運行時間の調整に課題がある。

**Q** 運行継続に対する考えはどうか。

**A** 運行継続基準は、2年間の実証運行の結果で廃線を含めた検討がされるが、交通弱者への配慮、利用者ニーズを考慮し、効果的な運行形態への改善や過疎地域に対応したオンデマンド交通の導入、観光利用等についても調査研究し、運行継続の可否を判断する。



甲斐市民バス(敷島北部線)

#### その他質問項目

- 環状道路整備による北部の土地利用について
- クラインガルテンの新たな活用方策について
- 通学路安全対策での合同点検の結果について
- 通学路に関するPTA要望への対応について



### 職員の働き方改革への取り組みを伺う

**Q** 本市の女性管理職の現在の人数と今後の登用目標は。

**A** 本年9月現在、18人の女性管理職が在職している。登用目標値は本市では定めていないが、管理職にふさわしい能力を有する人材を、男女区別なく登用している。

**Q** 本市の男性職員の育児休業制度の利用実績は。

**A** 平成16年の市制施行時から令和2年度まで、取得した男性職員はいなかったが、令和3年度に2人の男性職員が取得している。

**Q** 本市の育児休業の内容は。

**A** 甲斐市職員の育児休業に関する条例および規則に基づき、子供が生まれた日から3歳に達する日まで取得可能。本市においては「地方公務員法の育児休業に関する法律」の改正が行われていないため、制度の拡充等は行っていないが男性が育児休業を分割し、取得しやすくなっている。

**Q** 政策研究所の具体的な内容は。

**A** 政策課題に的確に応える企画・立案と職員の政策形成能力の向上および人材育成を目的とした研究所である。

**Q** 職員提案制度の具体的な内容は。

**A** 職員自身の創意工夫と企画提案力を高める目的で実施。昨年度は8件が提案され2件が採用となった。



育児休業を取得した男性職員

#### その他質問項目

- 高齢者、要援護者の個別避難計画の進捗状況
- 竜王南部公園運動場のトイレ整備について
- 甲斐市男女共同参画推進委員会の活動内容は
- 推進委員会から市への提言をする必要性は



### 河川等氾濫、水害対策は

**Q** 洪水ハザードマップの作成は。

**A** 令和3年度末を目途に発行し、自治会を通じ全戸や転入者にも配布する。また、周知方法については、地域ごとの説明会や小中学校の防災教育、市ウェブサイトで周知・啓発を図る。

**Q** 非常時の河川の監視状況は。

**A** 市内には一級河川含む河川が20河川あり、その内、国・県が水位計を6河川に8カ所、監視カメラが12カ所、市のカメラが2河川に3カ所ある。カメラの情報や国・県・気象庁の雨量、水位などの情報サイトと併せ状況を監視し、また、市ホームページでは各監視カメラにリンクしており、災害発生時には災害時用のトップページになり、カメラ映像につながる。

**Q** 県事業の貢川の改修工事の進捗状況は。

**A** 川幅を広げ、大下条地内の勧進橋まで護岸工事を行い、

令和8年度を目途に完成し、令和9年度内に長塚地内に親水公園を整備予定。工事区間の土手の市道の拡幅は改めて検討する。公園整備については、地域住民の意見を反映できるように地元説明会の開催も併せて要請する。

**Q** 貢川に繁茂する草木の除去作業は。

**A** 県へ要望し、随時実施している。大神橋上流については、今後地元自治会と協議し、対処していく。



貢川の改修状況

#### その他質問項目

- 明治以降の甲斐市の水害状況は
- 近隣市町村との広域圏での対策は
- 敷島総合文化会館の駐車場舗装整備は



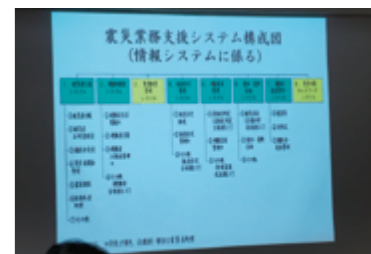
### 災害時での住民の安否確認

**Q** わが市で採用している被災者支援システムだが、災害発生時にどのように活用するのか。

**A** 本市の被災者支援システムは災害発生時の住民基本台帳情報を登録し、災害ごとに情報を管理できるシステムであり、この情報を用いて避難所の名簿と突合し、安否確認に利用するほか、家屋の被災時における罹災証明書の発行にも活用できる構成となっている。また、罹災証明書の様式は、各自治体からの応援派遣職員が対応しやすい全国統一様式に対応済みである。

**Q** 被災者支援システムは、住民基本台帳情報を地図に落とし込むことにより、瞬時にその地域に住む住民の情報をリストアップができるシステムである。これは発災後の安否確認だけでなく、避難要支援者の情報なども関連付けることにより、いち早くその前の段階である避難指示にも活用できる。現在このシステムのデータ落とし込みの状況はどのようになっているか。

**A** 被災者支援システムへのデータ移行については、住民基本台帳システムから毎日、移行用データの作成を行っている。質問の地図データとの連携については、各課のデータを統合する方向で庁内協議を進めている状況である。



被災者支援システムの研修の様子

#### その他質問項目

- 通学路の安全確保





### 甲斐市、国土強靱化地域計画、策定について

**Q** この「国土強靱化地域計画」の策定については、今後も発生するであろう大規模自然災害から市民の生命、財産を守ることを最大の目的とし事前の備えを効率的かつ効果的に行う観点から策定、公表するべきと考えているが。

**A** 「甲斐市国土強靱化地域計画」は、令和3年度から策定に着手し、令和4年3月の完成を予定している。

**Q** 本市で想定される災害リスクとは。

**A** 本市では、国および県のリスクを参考にし、建物の倒壊や浸水、土砂災害による多数の死傷者の発生など33のリスクを設定している。

**Q** 国が示した防災・減災国土強靱化のための5ヶ年加速化対策への対応について

**A** 国からの財政支援を受けるためには、国土強靱化地域計画への位置づけ等が要件化されていることから、施策・事業等の計画書への適切な記載を行い確実な支援を受けて参る。

**Q** 地域住民参加のワークショップの開催について。

**A** 防災教育および啓発活動の取り組みとして、必要に応じて実施を検討する。

**Q** マイタイムラインの推進について。

**A** 現在、作成しているハザードマップに加える計画である。



#### その他質問項目

- 新型コロナウイルス感染、自宅療養者の支援



### 山梨県緑化センター跡地に子育て支援施設を

**Q** 父兄のニーズ調査では、全天候型大型遊具のある室内子供向け施設や土日祝日の開放、より専門的な育児相談ができる窓口の設置が求められるが、進捗状況はどうか。

**A** 現時点では、子育て中の親子の交流や、医師、保健師など専門的な相談窓口の設置に加え、妊娠中から継続した支援ができる場の提供や、地域の関連機関との連携も図りながら検討しているところである。

**Q** 新しい子育て支援施設の場所は、山梨県緑化センター跡地がふさわしいと思うが、考えは。

**A** 県緑化センター跡地活用アイデアにおいて子育て支援センターや子育て世代交流の場といった、子育てに関連する施設の提案も多く市民から寄せられているとともに、市議会からも類似する提案をいただいている。本市がこれ

まで進めてきた甲斐市版ニューボラ推進プロジェクトや私自身の市政4期目の公約である「すくすく育つ子育てしやすいまちづくり」と合致したものであり市内全体を見据え検討したい。

**Q** 県緑化センターの活用方針が決まるのはいつ頃か。

**A** 「こどもワークショップ」「大人ワークショップ」を通じ、複数の計画案を今年度中にまとめていく。



子育てひろば

#### その他質問項目

- 災害弱者を守るため、「福祉防災」の充実を
- 災害対応力を強化する女性の視点を
- 「気象防災アドバイザー」の活用を



### 地域し尿処理施設等の公共下水道管への移行について

**Q** 松島団地のし尿処理について公共下水道への移行の考えはあるか。

**A** 移行するためには、公共下水道事業計画の認可区域に含める必要がある。当該自治会から許可区域追加への要望書が出されているので、認可区域への追加と併せて公共下水道への移行に向けて、今後検討していく。

**Q** 登美団地のし尿処理について公共下水道への移行の考えと今後のスケジュールは。

**A** 当施設は、公共下水道事業計画の認可区域に含まれているので、今後は自治会や施設の管理運営を行っている指定管理者の登美団地汚水処理施設管理組合と協議を進めて行く。

**Q** 寺平地区の農業集落排水浄化センターの今後の運営はどのように考えているか。

**A** 施設の老朽化が進み修繕や更新工事が必要となってくるので、今後は施設の適切な維持管理に努めると共に、長寿命化などを目的とした最適整備構想の策定を進めていく。

**Q** 敷島台団地し尿処理施設跡地の活用方法について何か考えはあるか。

**A** 有効的な土地利用を検討したが、既存施設の取壊し費用等が高額になることや、敷地の地形などの観点から、跡地の活用については現在未定となっている。



敷島台団地し尿処理施設跡地

#### その他質問項目

- 通学路の安全確保への取り組みと今後の課題
- 農林高校のマイスターハイスクール事業とは
- 農林高校のプロジェクトへの市の関わり方
- ワイン醸造で地場産業を発展させる政策は



### バイオマス産業都市構想について問う

**Q** 木質バイオマス発電事業を軸とする、環境サイクルとして、市内の森林整備の考えを伺う。

**A** 林地残材等の利用促進により、森林資源の循環利用が図れる。森林環境譲与税を財源とした森林経営者管理制度を活用、荒廃した森林の間伐を行い森林整備を進め水源のかん養機能、地球温暖化防止など多面的機能を保持できるよう森林整備を進める。

**Q** 木質バイオマス発電事業における、排熱利用で公共施設と農業施設への熱供給の構想を伺う。

**A** 生成される高温水と冷却水の熱により生成される低温水の熱エネルギーを利用する構想である。化石燃料に代わるエネルギーとして活用することで、CO2抑制、化石燃料費削減、地域農業活性化に繋がるプロジェクトとなるよう調査・研究を進める。

**Q** 熱利用計画の設定も必要かと考えるが。

**A** 本定例会において、熱供給事業に係る設計費用の補正予算案を計上し、事業者が行う発電所に合わせて、熱供給に係る設計を進める計画である。

**Q** バイオマスセンターで取り組まれている液肥化による、生ごみの減量化の効果について伺う。

**A** 生ごみ処理量は毎年53トンで、処理費用に換算すると、年間150万円の削減効果が得られる。



甲斐市バイオマスセンター

#### その他質問項目

- 双葉地区に災害に対応した配水池整備計画は
- 基幹配水管路の耐震性は保たれているか
- 築42年の水道事務所の建て替えの検討は



### 脱炭素社会へ再生可能エネルギーの充実を

**Q** 菅蒲沢地区のメガソーラー事業の現状と最終事業面積・認定出力はどうか。また、菅蒲沢地区に集中した理由は、事業終了時期と撤去計画・山林の再生はどうか。

**A** 5事業者のうち1事業者は昨年5月から商業運転を開始し、4事業者については現在工事中。また、集中した理由は日照時間や周辺に送電網があったからと推測される。事業終了時期は各工区とも20年売電を続け、その後も継続の意向を示しており、撤去費用は売電益から積み立てる。

**Q** 第3工区-1ブルーノキャピタルの事業地(14.8ha)は、静岡県函南町の工事(65ha)が反対の住民運動に発展しており、本市地域でも排水工事で県の指導を受けているが、

**A** 本工区については、令和2年3月に許可され着手した

が、その後、中間検査で適正な排水施設とするよう指導されていると承知している。

**Q** バイオマス発電は70%の排熱を利用して、発電エネルギー25%と併せて、石油発電の40%を超えなければカーボンニュートラルとは言えない。熱利用計画はどうか。

**A** 発電所周辺の公共施設や農業振興に活用する熱供給プロジェクトの実現に向け、排熱の量や取り出し方法について発電事業者と協議を進めている。



メガソーラー建設地の視察の様子

#### その他質問項目

- 世界の動向から日本も原ゼロを目指すべき
- 日本遺産 観光と文化遺産として活用は
- 梅の里総合公園の再生への市の施策は
- コロナ禍での母子・困窮世帯への支援は



### 新型コロナ対策に財政配分を

**Q** 不急の予算削減等を活用し、本年もコロナ対策に取り組むべきだが。

**A** 今後も、財政調整基金等を活用し、コロナ対策を遅滞なく取り組んで行く。

**Q** 収入減の商店、生活困窮者への直接補償は。

**A** 売上に大きな影響のある事業者への支援を検討している。また、生活困窮世帯には国の支援策として「自立支援金(最大30万円)」が支給される。本市の対象は約90世帯で8月末までに12世帯から申請があった。

**Q** 90世帯だけでは少なすぎる。対象を広げ、現金や商品券等の給付を行うべき。

**A** 対象範囲が難しいこと、また、セーフティネットとして生活保護申請が可能なおから、市独自の現金給付等については、現段階で検討していない。

**Q** 学校現場で感染が増えている。大規模検査等を実施すべき。

**A** 必要な人に対し、行政検査としてPCR検査を実施しているが、現在の医療機関の現状から検査拡大は困難な状況である。なお、国の事業として市内小中学校等に抗原検査簡易キットが配布される予定です。

**Q** 12歳未満はワクチン接種ができない。検査キットを活用し、抗原検査は実施できないか。

**A** 検査キットは教職員に症状があった場合に使うよう支給されており、全児童対象の実施は困難である。



欧州で無償配布される抗原検査キット

#### その他質問項目

- 菅蒲沢メガソーラーと土砂災害
- 特別職および議員報酬改定



# 行政視察研修をオンラインで実施 「SNSを中心とした議会広報について」

## 議会広報常任委員会

令和3年7月30日(金) / 研修先：北海道稚内市議会

- 委員長 ・ 滝川美幸
- 副委員長 ・ 谷口和男
- 委員 ・ 伊藤 毅・加藤敬徳・小澤重則・長谷部 集

議会広報常任委員会では、ウィズコロナの新たな取組みとして、去る7月30日に北海道稚内市議会との行政視察研修を、お互い初めてとなるオンライン方式により実施しました。

研修には、稚内市議会から岡本雄輔議長、小野寺太一議事事務局書記、本市からは山本英俊議長、滝川美幸議会広報常任委員長はじめ5人の委員、事務局職員が参加し、「SNSを中心とした議会広報について」をテーマに、現在、稚内市議会で実施している「Facebookを活用した議会活動の情報発信」や「YouTubeを活用した議会中継・録画映像配信」などについて、導入に至った経緯や投稿記事・配信映像の内容、また閲覧数を増やすための工夫などについての説明を受けました。



稚内市議会の取組みを熱心に拝聴

今後は、広報誌以外での情報発信を検討していく上での新たな試みとして、「SNSの活用」は非常に有効であると考えておりますが、まだまだ運用面等において、様々な課題を抱えております。本研修で得た内容などを参考に、実施に向けた調査・研究を引き続き行っていきます。



稚内市議会 岡本雄輔議長のあいさつ

委員からは、「委員の関わり方や役割」「インサイト(分析機能)を活用し、その後の展開を考えているのか」「委員会等をYouTubeで配信するようになった経緯」などの質疑があり、「投稿は主に事務局が行っているが、導入に至った経緯が議員発信のため、全般的に関わっている」「始めは本会議のみだったが、議員サイドから特別委員会を含め委員会の様子を配信すべきとの声があり、配信するようになった」との回答をいただきました。



オンライン会議ツールを利用して開催

## 新型コロナに対する市の諸施策の検証



金丸 寛

Q ワクチン接種は重症化防止等には効果があるとされている。希望者全員への接種はいつ頃終了する予定か。

A 接種は順調に進んでおり、最終となる12歳から18歳の接種を始めており、11月中には希望するすべての市民の2回目の接種が、概ね完了する見込みである。

Q マスク、エコバック配布に要した費用は。

A 配布に要した費用は、1億6,069万1,940円である。

Q マスクの配布率と市民の皆さまの評価はどうだったのか。

A マスクの配布率は89.4%で、時節柄の配布に感謝の声を多数いただき、市民の方々から評価されたと感じている。

Q 市民への支援について。

A 「安心甲斐・市民支援事業」については、約20億9,600万円の支援で、市民一人当たり換算すると、約27,500円となる。

Q 一つの事業の評価等の検討は、次の施策の参考になると思うが、その点はどう考えているか。

A 独自の施策を実践した取り組みについては、評価をし、改善や見直しの必要性を痛感したところである。

Q プレミアム付商品券の販売店がわかりずらかったが。

A 市商工会に委託し、各庁舎を含む23カ所で販売。金融機関や地元商店を選定し密をさせたことで適切だった。



12歳から18歳のワクチン接種の様子

## その他質問項目

- 市外の人への販売の有無と高齢者への配慮
- 今後の学校運営について
- 昨年の長期臨時休業をどう受けとめたか
- メガソーラーの安全性について



## 効率的で災害に強い 汚水処理施策を



長谷部 集

Q 下水道事業の経営状況は。

A 昨年度決算では、下水道使用料等自主財源が約6億3千万円、国庫補助金が約1億3千万円、企業債が約4億1千万円、一般会計繰入金金が約11億4千万円で、一般会計からの基準内繰入だけでは赤字となる。

Q 公営企業部として組織機構が再編されたが経費削減になったか。

A 新たに経理・徴収係を設け、業務に精通した職員が一括して担当することで、人員の削減や業務時間の短縮になった。また会計システム等を水道事業に含めるなど経費の削減に努めている。

Q 釜無川流域下水への負担金は、また他市町との比較は。

A 昨年度の建設負担金は約5千万円、維持管理負担金は4億6千万円で、両負担金とも関連市町の中で一番多い。

Q 被災した場合の被害想定は。

A マグニチュード8.0程度の地震の場合、下水道施設の復旧に約1か月を想定。その間、水洗トイレの使用はできなくなる。

Q 合併浄化槽の普及促進を検討しては。

A 過去の災害事例では、合併浄化槽の復旧は下水道に比べ期間が短いとされる。公共下水道の耐震化を進めつつ、市全体のより良い汚水処理施策について検討する。



釜無川浄化センター

## その他質問項目

- 釜無川流域下水の建設当時の負担金は
- 流域下水施設被災時のマンホールトイレは
- 農業集落排水事業の今後は
- 汚水処理事業を一元的に管理しては



## 新型コロナ感染防止啓発活動を実施しました

市議会では、まん延防止期間に伴い、市内3カ所(竜王、敷島、双葉地区)の交差点において、感染拡大防止を目的とした啓発活動を行いました。



## 特集『輝く仲間たち』への掲載記事募集中

市内で活動している方(団体)であれば、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載することが可能です。

詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 庶務・議事係  
TEL055(278)1673



甲斐市議会だよりNo.68

## 議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議および委員会の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

なお、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴制限をかけることもありますので、ご確認ください。

### 令和3年 第4回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある場合  
もあります。

※傍聴に際し、手話通訳が  
必要な方は、障がい者支  
援課へお申込みください。

TEL.055-267-7287  
FAX.055-276-2113  
メール:kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
12/5	6	7	8	9	10 本会議 (議案上程等) 10:00~	11
12	13 厚生環境常任委員会9:30~ 建設経済常任委員会13:30~	14 総務教育常任 委員会 9:30~	15 委員会 予備日	16 本会議 (採決・代表質問) 10:00~	17 本会議 (代表質問) 10:00~	18
19	20 本会議 (一般質問) 10:00~	21 本会議 (一般質問) 10:00~	22	23	24	25

### 甲斐市商工会「かいてき住まいの応援団」相談窓口

#### 住まいのお困りごとは、信頼の地元工務店で!

家のリフォームから、  
造園・外構・快適住環境整備まで  
あらゆる住まいの相談にお応えします!  
ご相談は、商工会へ!



【ご相談窓口】 甲斐市商工会 経営支援課  
甲斐市篠原2710-1 ☎055-276-2385

### 有料広告

\*\*\*引越しのお手伝い致します\*\*\*

## 不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

## リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)  
☎0551-28-6262

出張回収にも伺います! お気軽にお電話ください。

### 議会広報常任委員会

委員 長 滝川 美 幸	委 員 加藤 敬 徳
副委員 長 谷口 和 男	委 員 小澤 重 則
委 員 伊藤 毅	委 員 長谷部 集

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)

甲斐市議会のQRコードはこちら▶

